

# 公明党

## 電子市役所の推進

**議員** エ丁化に向けた人材育成と体制づくりについて伺いたい。

**企画部長** エ丁化に向けた人材育成については、職員の情報格差を解消し、パソコンの操作技術を高めるために、全職員対象のパソコン研修を実施している。また、新たな取り組みとして、インターネットを利用したeラーニングという職場研修の手法を導入するとともに、各パソコン研修に情報セキュリティに関する項目を盛り込み、その意識向上を図っている。

エ丁化を推進する体制については、平成13年2月に長崎市高度情報化推進本部を設置しており、また各所属においても、長崎市高度情報化推進員を配置し、庁内及び所属における情報化の推進を図っている。



パソコン研修のようす

# 日本共産党

## 介護保険制度

**議員** 介護保険制度の改正内容について伺いたい。

**市長** 介護保険施設入所者の居住費、食費は、これまで介護保険の給付対象となっていたが、本年10月の見直しにより、低所得者へ配慮しつつ、これらが自己負担となる。また、介護度が比較的軽度の方を対象に自立支援を目的とした新予防給付が創設されるとともに、地域支援事業においては、市町村が実施主体となつて、介護予防事業、虐待防止を含む権利擁護事業、介護給付の適正化事業、介護者の支援事業などを行う内容となつている。

## アスベスト問題

**議員** 三和地区のアスベスト鉱山跡地の今後の対応策について伺いたい。

**商工部長** アスベスト鉱山の就労者については、7月12日に健康相談窓口を地域保健課に設置し、その対応に努めている。また、労災補償等の窓口である長崎労働局において、健康診断の受診を呼びかけている。

本市としては、今後とも、長崎労働局と連携して制度等の周知を図ってきたい。



長崎労働局

## 防災対策

**議員** 急傾斜地崩壊危険箇所の整備促進について伺いたい。

**道路公園部長** 平成17年度における急傾斜地崩壊対策事業は、県事業として14カ所、市事業として6カ所を実施しているが、着手率は約23%と全国的にも低い水準にある。

危険箇所の整備がなかなか進まない理由としては、同事業の採択要件である土地の無償提供について地権者の方々の理解がなかなか得られないことがある。本市としては、今後とも、速やかな防災工事の実現に向けて、説明会等に積極的に参加するなど地元自治会の皆様方と協力しながら、地権者の方々のご理解が得られるよう、より一層努力していききたいと考えている。

## 被爆体験者支援事業

**議員** 被爆体験者支援事業の現状と今後について伺いたい。

**市長** 平成17年6月から運用している被爆体験者支援事業について、現時点では、スクリーニング検査をほぼ終了し、約7割の方が被爆体験と精神症状の両方が有ということで次の診断に進んでいる。

今後の取り組みについては、対象外となつた方についての次年度以降の取り扱いや制度の改善内容の精査を行い、関係団体との連携も図り、今後引き続き、厚生労働省に対し強く要望を働きかけていきたい。

# 社民党

## 消費者トラブル

**議員** 消費者トラブルの現状と対策について伺いたい。

**市民生活部長** 消費者センターへの平成16年度の相談受付件数は、8千495件で、前年度比4.2%、344件の増となっている。この件数の増加は、架空請求等の相談がふえたことによるものであるが、警察の取り締まりやマスコミの報道効果などにより、今年度に入り、減少傾向にある。

しかしながら、点検商法を初めとする高齢者の財産を狙つたものが発生するなど手口が悪質化していることから本市の消費生活相談の体制についても消費生活専門相談員資格等の公的資格を有する長崎市消費生活相談員5名と、正規職員5名体制で、それぞれの役割や機能を分担しながら消費者行政の充実に努めている。

## 気走会

## 市営フグビー・サッカー場

**議員** 市営ラグビー・サッカー場の人工芝化について伺いたい。

**道路公園部長** 人工芝については、転んでもけがが少ない状況の中でプレーができるなど、子どもたちの競技力向上や多目的に利用できるなどの効果があるが、人工芝にするには多額の費用